

## 春の叙勲

春の叙勲が発表され、次の2人が受章されました。

昭和43年、地域でいち早く養鶏を中心とした農業の法人化を図るなど、常に地域の先頭に立ち、時代や環境の変化に対応した農業経営を実践するとともに、農業委員会の会長や農業協同組合理事などの要職を歴任し、地域農業の発展と振興に貢献されました。



**旭日双光章**

(畜産業振興功労)

宮澤兄一さん  
70歳（萬歳）

昭和62年、千葉県議会議員に初当選し、以来連続5期の長きにわたり、千葉県議会議長をはじめ多くの要職を歴任し、幅広い分野において県政の進展に参与するとともに、郷土の発展、生活環境の向上に尽力されました。



**旭日小綬章**

(地方自治功労)

宮内三朗さん  
72歳（三川）

## 6 競技で優勝

## 東部五市体育大会

旭市、銚子市、匝瑳市、成田市、香取市の5市がスポーツを通じて交流を図ろうと開催している、東部五市体育大会が5月16日、銚子市で開催され、男女合わせて26の競技で熱い戦いが繰り広げられました。開会式では、今秋開催される千葉国体の炬火イベントも行われ、大勢の関係者が見守る中、5市の市長が炬火受皿へ合同で点火するなどして開会式を盛り上げました。旭市は、バドミ



▲炬火のトーチを持って「炬火受皿」を囲む5市の市長

ントン女子（5連覇）、バスケットボール女子（2連覇）、ソフトテニス、バレーボール男子、バレーボール婦人、ソフトボール男子の6つの競技で優勝しましたが、総合では第4位という成績でした。



▲接戦の末サヨナラ勝ちを収めたソフトボール男子



▲豪快なスパイクを次々と決めるバレーボール婦人

## 広がる絵本の世界

本を読むことの楽しさや大切さを知ってもらおうと4月25日、市民会館でおはなしフェスティバルが開催され、親子連れなど145人が参加しました。会場では、小学校や公民館などで絵本の読み聞かせを行っている6団体のボランティアが、影絵や紙芝居、エプロンシアターなど、それぞれ工夫しながら子どもたちに読み聞かせを行っていました。会場の子供たちは、物語の展開に合わせて、じっと静かに耳を傾けたり、大きな声で笑ったり、絵本の世界へと入り込んでいました。



▲楽しい紙芝居に、会場いっぱいに笑い声が響く

## 好成績も飛び出す

### 旭市民陸上競技大会

陸上競技の振興と健康増進を図るため、東総運動場陸上競技場で5月9日、市民陸上競技大会が開かれました。運動好きの、小学校から一般まで559人が参加し、男子31種目、女子26種目で熱戦を展開しました。校庭とは違った地方における国際競技会も行える素晴らしい施設で、選手たちは日ごろの練習の成果を発揮しようと気合十分の面持ち。観客席から「頑張れ！負けるな！」などの大きな声援が、選手を後押ししていました。



▲スタートの合図と同時に飛び出す選手たち

## フライアップで決意新たに

### ガールスカウト入団・フライアップ式



▲フライアップしたスカウトが団員からスカーフを巻いてもらう

ガールスカウト第69団の入団・フライアップ式が4月29日、西宮神社で行われ、スカウト21人が参加しました。フライアップ（進級）したスカウトは、証として団員から首にスカーフを巻いてもらい、バッジを付けてもらおうと「今年はいろいろなことをやってみよう」と、それぞれの抱負を述べました。最後に団員と来賓が、今年度の団の活動テーマ「始めよう」にちなみ、自分が始めてみたいと思っていることをハンカチに込めロープに結び、それを輪にしてみんなで時計回りに1周させながら、目標を心に誓い合いました。

## 延長の末朋和産業が優勝

### 旭市春季野球大会

4月4日から、38チームが参加して旭市春季野球大会が行われました。5月16日にスポーツの森公園野球場で行われた決勝戦は、朋和産業対キャッツ。両チームは過去、決勝戦で何度も対戦している因縁の相手。試合は点を取り合いながら進み、同点のまま延長にもつれ込みました。朋和産業は8回表に1点を挙げ、その裏、相手の攻撃を守り抜き4対3で優勝しました。

## 腕自慢が釣果を競う

### 春のヘラブナ釣大会 長熊釣堀センター



▲お見事！2匹一緒に釣り上げます

5月9日、市内外から272人が参加し、恒例のヘラブナ釣大会が行われました。釣り座を埋め尽くした腕自慢の参加者たちは、それぞれのポイントに合わせて、仕掛けや餌を工夫し、釣り堀を攻略。多くの参加者たちは近年にない釣果を挙げました。

大会の結果は、次のとおりです（敬称略）。  
 男性の部優勝／日達裕二（大田区） 37.0kg  
 女性の部優勝／福田三枝子（八千代市） 6.0kg  
 子どもの部優勝／八本光司（鎌数） 1.4kg

## きれいに咲いてね

### 川口沼親水公園

5月14日、3年目を迎える豊畑小学校児童によるハナショウブの苗の植え付けが、川口沼親水公園で行われました。6年生55人による作業が始まると「キャー、ナメクジ」「ムカデもいたぞ！」など、あちこちで声上がり、悪戦苦闘しながらも一生懸命苗を植えていました。公園に植え付けされたハナショウブの数は、すでに1,000株以上。今月の半ばには、見事な花を咲かせてくれるとのことです。



▲丁寧に1株ずつ植えていきます



▲優勝した朋和産業のチーム